

畑わさび【岩泉町】

産地探訪

岩泉町では約90%を占める
山林を活用し

昭和58年頃から「畑わさび」の
栽培が始まった。

現在では生産量日本一の
産地に成長した。

多くは練りわさびの原料として
使われているが、

春には株を成長させるため
摘み取る花芽「花わさび」は

春の味覚として、
ふすべて食されてきた。



よしざわ まこと
吉澤 誠 さん(43)【岩泉町・門】

就農して11年目になります。現在は畑わさびを約4ha作付し、今年は2ha分の畑わさびを出荷します。木の間伐や日の入り方を注意しながらの栽培で、通常の農業とはちょっと違う所に面白さも感じています。



はやし まさき
林 将希 さん

【宮古宮農経済センター米穀園芸課】

畑わさびの多くは加工用として練りわさびなどの原料（本わさび）として使われています。加工品の他には、4月下旬から5月上旬にかけて摘まれた花芽は「花わさび」として親しまれていますので、ぜひご賞味ください。